

《議題》

マチナカとは

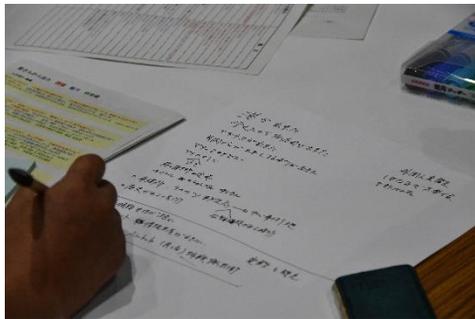
第2回ワークショップ

日時：平成30年7月12日

19:00~21:00

会場：はーぱりーみなとホール

参加者：18名



当日のプログラム

○開会

○マチナカとは

○前回絞りこんだグループ

・人の流れ(増減)

・商業

・建物(設備)

・情報(仕組み)

に分かれ集中的に話し合う

議題を協議

○共有

○閉会

第2回目はマチナカの定義を考え、4つのグループに分かれ、重点的に話し合う項目を絞り込みました。

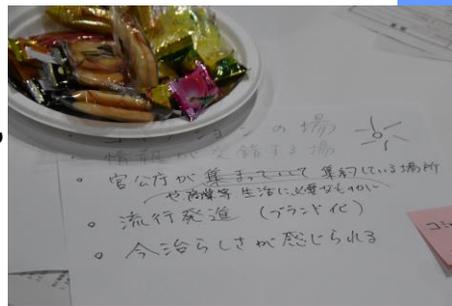
NPO法人今治シビックプライドセンター
代表理事 友田康貴

前回の議論の中で出てきた疑問「マチナカとは？」をみなさんと共有する必要があります。新しいマチナカの定義を市民でかんがえましょう。



マチナカとは

- ・人と情報の集まる所。
発信する所
- ・他所から来た人が訪れる玄関
- ・交通拠点として昔から栄えていて後々色々な産業が出来た
- ・人がたくさん行き交う場所
- ・中心市街地というより歴史的な場所だから残すべき
- ・沢山の機能が動いている所、困った事を解消してくれて信用のある人の集まる場所
- ・コネクションの場
- ・情報が交錯する場所
- ・官公庁や商業等、生活に必要なものが集約している場所
- ・今治らしさを感じられる
- ・商店街＝専門店街
- ・時代はマチナカ居住
しかし元々は働き場所、購買場所であった
- ・商店街の思うマチナカとの乖離
- ・マチナカの変える所と変えない所をピックアップしていく
- ・港ができた
→栄えたから商店街ができた
→マチナカができた
- ・マチって呼びたい。
マチへ出ていく



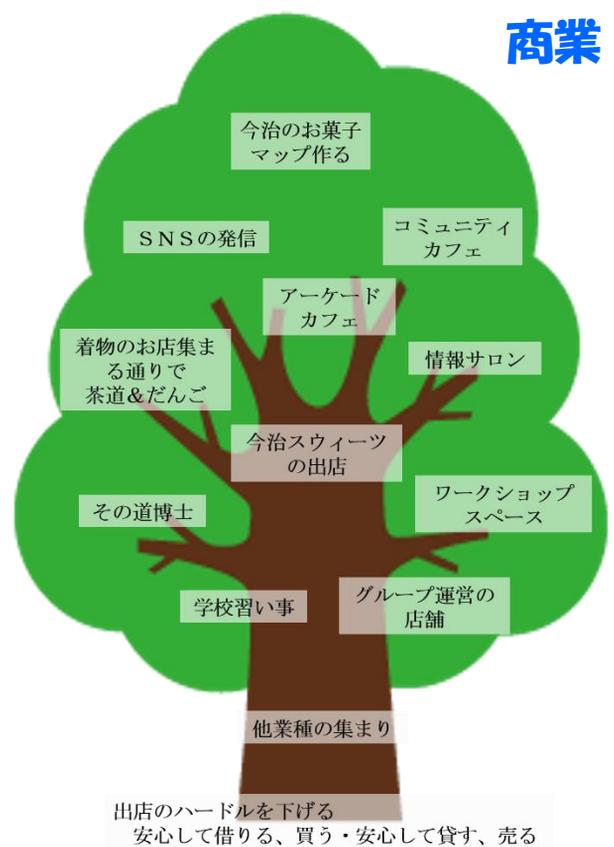
出てきた議論を次回に集約し
マチナカの定義を共有する

個人・店・企業

- ・情報の共通化
- ・色々な人と話せる場所づくり
- ・近隣の人々の流れ
- ・市外県外からの人の流れ
- ・中高生が集まりやすい環境
- ・買いたいと思う商品の増加
- ・イベントの収益率を上げていく

行政

- ・自立できる人の育成
- ・住みやすい、住みたいと思う事、設備
- ・働き場所
- ・住宅手当等の優遇
- ・マチナカ景観の統一
- ・税金補助、経営補助



建物 (設備)

アーケード

- ・アーケード改修・商店街の屋根
- ・アーケードの除去

所有者の問題・使用されていない店

価値のあるものないもの

- ・昭和の建築に価値を見出せない物件が多い
→価値を再構築する時期に来ている
- ・商店街の縮小
- ・ヴィンテージの再利用
- ・土地建物の相続が継承できていない資産

人を惹きつけるもの

- ・まごころを感じる象徴を残す
来場者=入りやすい店、話しかけやすい店
地 元=???
- ・空き店舗に若い人がトライできる仕組み
- ・居住地区の創設

金星川

- ・不二家の喫茶店
- ・親水空間を作る

情報 (仕組み)

1. 外国人実習生・インバウンドに対する仕組み
実習生人口はしなみ界限で万単位で働いている
ピンポイント情報発信・民泊体験商店街・英語版中国語版等の整備
2. 情報に対する仕組みづくり
情報管理・情報発信・情報集積など個店で行う
実際に商店街に来られる年配の方への配慮
新しい情報が集まる仕組み (ブレイン形式)
3. 実現に向けた仕組みづくり
マチナカ整備を必ず実現させる仕組み
これから先も同じ話し合いをしない仕組み
小さなことから始めてみる
4. 地域ポイント制度の仕組みづくり
マチナカ独自のシステム、ポイント、通貨と連動した公共、イベント、
5. 魅力ある場所にする仕組みづくり
明るい雰囲気づくりに努める
インスタ映え

第3回 新しいマチナカつくりうぜ お知らせ
 日 時：平成30年8月9日 (木) 19:00~21:00
 場 所：みなと交流センター みなとホール
 目 的：マチナカ定義共有。グループに分かれ協議
 駐車場：沖洲・第一・第二駐車場をご利用ください。
 参加希望の方はご連絡ください。
 TEL 080-6382-2619 MAIL icpc@major.ocn.ne.jp 担当 三谷